

日漢協学術講演会 開催

2024年9月20日(金)、KKRホテル東京(朱鷺の間)にて、厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課の水谷忠由課長をお招きし、「医薬品産業の現状と課題について」と題し、ご講演をいただきました。

当日は、会場とオンラインによるハイブリッド開催により、会員会社等より、会場に35名、オンラインで59名、合計94名の方々にご参加いただきました。

本会は、業界の健全な発展と会員の資質向上等に資するために外部講師をお招きし、定期的に行われている講演会である。今回は、あらためて漢方製剤等の安定供給と普及・発展を通じて医薬品業界の発展と国民の健康に貢献すべく活動等を徹底する目的で開催された。

水谷課長のご講演の主な骨子は以下の通りである。

➤ 医薬品産業の主な課題と対策の方向性

- ・安定供給の確保
- ・ドラッグ・ラグ/ドラッグ・ロスの解消
- ・創薬力の強化
- ・適切な医薬品流通に向けた取組

➤ 医薬品の安定供給に向けた取組

- ・現下の供給不安への対応
(製薬企業、医療機関、卸売業者)
- ・構造的課題への対応
(後発品産業のあるべき姿と対策)



【水谷 忠由 課長】

➤ 令和6年度薬価制度改革の概要

- ・ドラッグラグ/ドラッグロスの解消に向けた革新的な医薬品のイノベーション
- ・後発品を中心とした医薬品の安定供給の確保のための対応
(価格の下支え制度の充実を図るべく、企業からの希望品目に不採算品再算定を適用)

➤ 安定供給確保に係るマネジメントシステムの構築について(議論のたたき台)

- ・製薬企業における安定供給確保に向けた体制整備
- ・供給不安(限定出荷等の状況)の迅速な把握/報告徴収/協力要請
- ・安定確保医薬品の供給確保要請

➤ 適切な医薬品流通に向けた取組について

- ・「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の改訂
- ・流通改善ガイドラインの改訂に伴う新たな取組
(妥結率等に係る報告書の改訂、不採算品再算定品の公表)

➤ セルフメディケーションの推進について

- ・健康寿命延伸プラン(健康無関心層も含めた予防・健康作り、地域・保険者間の格差解消)
- ・健康に関する関心・正しい理解、予防・健康づくり(セルフケア)
- ・症状の自覚、症状や状況に応じた適切な行動
- ・OTC薬の適切な使用(適切なセルフメディケーション)
- ・セルフケア・セルフメディケーション推進室(訓令室)の設置
- ・セルフメディケーション推進のためのスイッチOTC薬控除(医療費控除の特例)

➤ 漢方製剤の現況と原料生薬の確保について

- ・生産現況: 令和4年度漢方製剤等の生産金額は2,332億円、全体の約2.3%
- ・生産動向: 令和4年度までの直近5年間で漢方製剤等は、約21.0%増
- ・漢方製剤等の原料となる生薬の種類: 276品目 (内、国内産は33.7%にあたる93品目)
- ・使用生薬: 中国産が約82.7%、市場価格も上昇

➤ 原料生薬となる薬用植物の国内生産拡大の必要性と取組

- ・原料生薬の安定調達のために薬用植物の国内生産拡大が必要
- ・生産拡大のために需給情報の交換・共有が非常に重要
- ・関係団体が農水省の補助事業を活用し、情報提供や個別相談会等を実施

➤ 薬用植物の国内栽培の推進に向けた取組

【医薬基盤・健康・栄養研究所 (NIBIOHN) 薬用植物資源研究センター】

- ・薬用植物資源の収集・保存
- ・薬用植物の栽培技術・評価・応用研究
- ・種苗・植物エキスの提供と技術指導

【日本医療研究開発機構 (AMED)】

- ・薬用植物の栽培化および利活用拡大に関する研究
- ・薬用植物国産化・利活用促進プロジェクト



【会場の様子】